

# あの日を忘れない



自助

## 地震に対する知識と備えがいざといふ時に役に立つ

### 非常持ち出し品などをチェック

非常持ち出し品は地震発生直後、避難する際にすぐ持ち出せるように、日ごろからの準備や点検をしておくことが大切です。避難の際に動きやすいよう、量は必要最低限にひとまとめにしておきましょう。

\*沿岸部に住んでいる人は、まずは逃げることを最優先にしてください。

発災後、電気、ガス、水道などのライフラインが止まつたとき、支援物資が届くまでの期間をしのぐための備蓄品も備えておきましょう。飲料水や食料品は、定期的に賞味期限を確認するようにしましょう。

- 非常持ち出し品
  - 飲料水 □ 非常食(3日分)
  - ラジオ □ 携帯電灯 □ 予備の乾電池
  - 笛 □ マツチ・ライター □ ティッシュ
  - 下着・靴下 □ 生理用品
  - ベーパー □ タオル □ 軍手
  - ヘルメット □ マスク
  - 雨具 □ ビニール袋 □ 応急医薬品
  - 現金(硬貨も) □ 保険証・運転免許証など
  - 備蓄品
  - 飲料水(1人1日3リットルの水を最低3日分)
  - 食料品(7日分のうち調理不要の非常食3日分)、乳幼児用や高齢者用も忘れずに
  - 衣類(季節に応じて)など
  - ミルク □ 哺乳瓶
  - 食べ物 □ オムツ □ おぶいひも
  - ガーゼ □ バスタオルなど

**携帯電話用「災害用伝言板」**  
登録された情報はインターネット、携帯電話などで確認可能。詳細は、携帯電話各社に問い合わせください。

**災害用伝言ダイヤル「171」**  
震度6以上の地震発生時にNTTがサービスを開設。家族や友人などの安否確認に有効です。一般加入電話や公衆電話、携帯電話から利用することができます。保存時間はおよそ48時間で最大10件まで登録できます。

**登録方法** 「171」にダイヤル→【1】→「自宅の電話番号など」→30秒以内で伝言を登録

**再生方法** 「171」にダイヤル→【2】→「自宅の電話番号など」→再生される

**木造住宅耐震補強**  
市では、予想される東海地震から一人でも多くの市民の生命や財産を守るために、国や県とともに木造住宅の耐震化に取り組んでいます。



近な人同士で助け合う「共助」、自治体や行政機関などが支援、救援などを行う「公助」の3つが基本となります。

しかし、昨年3月11日に発生した東日本大震災において、現実として行政にできることはわずかだということを痛感させられました。そこで、この教訓を基に市では「自助」「公助」「公助」のそれぞれの分野において、新たな防災対策に取り組んでいます。

自然災害に対して、これらを取り組みをどのように活用し、生かしていくのか、市民の皆さん一人一人に今一度考えてもらう必要があります。

津波の被害にあった南相馬市鹿島区



防風林のはるか上を越えて、襲ってくる津波(提供:福島県南相馬市)

Proud!  
東日本大震災の復興を支援しよう  
Japan

東北地方を中心に、わが国に甚大な被害をもたらした東日本大震災から1年以上が経過しました。被災地の人々やその家族は、多くの悲しみや苦悩を乗り越えて復興に向かい前進しています。一方、時間の経過とともに、私たちの記憶は少しづつ薄らいでいるのではないでしょうか。

数多くの人命やかけがいのないものを奪った大震災。今後30年以内に、約88%の確率で東海地震の発生が予測されている地域に住む私たちに必要なことは、あの出来事を決して忘れず、教訓にして今に生かすことではないでしょうか。この1年で本市が実施してきた支援や取り組みとともに、私たちにできることを今一度考えてみましょう。

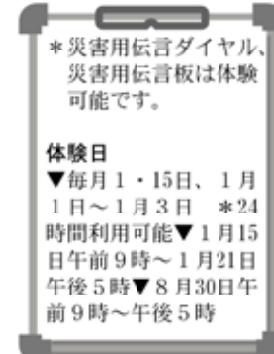
問い合わせ 防災課 杉田 ☎ 0056

## 大規模災害を乗り越えるために

### 巨大地震がまちを襲う

いつ発生してもおかしくないと言われている東海地震。最近では、国の中防災会議が「東海」「東南海」「南海」の3つの巨大地震が連動して発生する可能性を指摘しています。さらに、同会議は3つの地震が連動して発生した場合、死者は約2万4700人、震度7の激しい揺れや10メートルを超える津波により、約96万棟の住宅などが全壊する想定しています。

東海地震で予想される津波の第1波は、地震発生後約5分以内に市内沿岸部に到達すると言われています。大きな揺れに襲われた後の短い時間の中で、自分の身を守るためにはどうしたらよいのでしょうか。



を図るプロジェクト「TOU KA I(東海・倒壊)-10(ゼロ)」を推進しています。電話一本で専門家による無料の耐震診断が受けられ、設計費用や工事費用の一部が補助されます。

**対象** ▼昭和56年5月以前の耐震工事未実施の木造住宅▼申請前に専門家の無料診断と補強計画作成済みの住宅のみで更正される世帯などは55万円)

**申請方法** 電話で確認してください。  
問い合わせ 都市計画課 前田 ☎ (53) 2633



津波の被害にあった南相馬市鹿島区